

14.4

929

四日市市勢

四日市市役所發行
西女臨見
昭和十二年版

四日市

市勢要覽

昭和二十年版

14.

929

昭和十二年刊行



四日市市勢要覽

四日市市役所



四日市市の概観

面積	積	一、六二五陌餘
戸數	數	一一、八〇三戸
人口	口	六〇、八八五人
生産總額	額	六五、〇〇〇千圓
貿易總量	量	一、八〇七千噸
貿易總額	額	一九五、〇〇〇千圓
入港船舶	艘	二、五〇〇千噸
市歳計	計	九六八千圓

四日市市役所要覽日誌

凡例

- 一、本要覽ハ主トシテ昭和十一年ノ事實ヲ掲記スルヲ目的トスルモ必要ナル表ニアリテハ既往ノ變遷消長ヲ示サンガ爲普通前四ケ年ニ遡リ其ノ計數ヲ掲記比較ニ便ス
- 一、本要覽中何年トアルハ曆年、何年度トアルハ會計年度ナリ而シテ現在ヲ見ルヘキモノニ就テハ特ニ調査期日ヲ記入セリ
- 一、本要欄ハ分チテ十六編トス即チ總説、土地、戸口、教育、社寺兵事及社會事業、衛生、警察、農業、水産、工業、商業、運輸交通及通信、財政、議會及市政、上水道、雜、是ナリ尙末尾ニ附録ヲ附シテ參考ニ供セリ
- 一、本要欄中數位ヲ示シ難キモノ及事實ナキモノハ(一)ヲ附セリ

四日市市役所

1.41
090

四日市市勢要覽目次

第一編	地勢交通	(一)
第二編	沿日市港	(二)
第三編	土地	(四)
第一編	有租地	(七)
第二編	官租地	(七)
第三編	免租地	(八)
第一編	戶數及人口	(九)
第二編	現在戶口町別	(九)
第三編	職業別戶數	(一四)
第四編	職業別人口	(一四)
第一編	小學校兒童	(一五)

第二編	學齡兒童	(一七)
第三編	市立幼稚園	(一八)
第四編	市立高等女學校	(一八)
第五編	市立商工學校	(一九)
第六編	青年學校	(一九)
第七編	縣立四日市商業學校	(二〇)
第八編	市立圖書館	(二〇)
第九編	學務委員	(二一)
第一〇編	四日市市教育會	(二一)
第五編	社寺及社會事業	(二一)
第一編	社寺教會說教所	(二二)
第二編	感化慈善	(二四)
第三編	市營住宅	(二四)
第四編	職業紹介所	(二五)
第五編	赤十字社、掖濟會、婦人會	(二五)
第六編	公益質屋	(二六)
第六編	衛生	(二六)

第一編	第一	漁業組合	(三三)
第一〇編	第一	漁業組合	(三三)
第一編	第一	主要工業物	(三四)
第一編	第二	勞働賃錢	(三五)
第一編	第三	電燈瓦斯	(三七)
第一編	第一	商業	
第一編	第一	商工會議所	(三七)
第一編	第二	產業組合	(三七)
第一編	第三	商業關係組合	(三八)
第一編	第四	市場	(四〇)
第一編	第五	諸物價	(四一)
第一編	第六	銀行	(四四)
第一編	第七	銀行取引	(四四)
第一編	第八	郵便貯金	(四五)
第一編	第九	度量衡取締	(四五)
第一編	第二	運輸交通及通信	

第一編	第一	死亡者病類別	(二六)
第一編	第二	死亡者年齡別	(二七)
第一編	第三	死亡者職業別	(二七)
第一編	第四	傳染病患者	(二八)
第一編	第五	衛生機關	(二八)
第七編	第一	警察	(二九)
第七編	第二	警察署	(三〇)
第七編	第三	消防	(三〇)
第七編	第三	火災	(三〇)
第八編	第一	農業	
第八編	第一	四日市市農會	(三〇)
第八編	第一	作付田畑別及自作別反別	(三一)
第八編	第二	農作物收穫高	(三一)
第八編	第三	養蠶	(三一)
第八編	第四	製茶	(三一)
第八編	第五	畜產物總價額	(三一)
第九編	第一	水產業	

第一	道	(四七)
第二	橋	(四七)
第三	外國貿易入港船屯數別	(四八)
第四	外國貿易入港船航路別	(四八)
第五	內國貿易入港船種別	(四八)
第六	貿易額	(四九)
第七	省線四日市驛及港驛午起驛旅客並貨物月別	(四九)
第八	私設鐵道市內驛旅客月別	(五〇)
第九	私設鐵道市內驛貨物月別	(五一)
第二〇	郵便、電信、電話	(五二)
第一三編 財政		
第一	一般會計歲入出豫算	(五三)
第二	上水道費歲入出豫算	(五六)
第三	診療所費歲入出豫算	(五七)
第四	公益質屋歲入出豫算	(五八)
第五	市有財產	(五九)
第六	市債	(五九)

第七	諸稅負擔額	(六〇)
第一四編 議會及市政		
第一	議	(六三)
第二	市參事會員及市會議員	(六三)
第三	市職員	(六四)
第一五編 上水道		
第一	集水井	(六五)
第二	導水管	(六五)
第三	唧筒所	(六六)
第四	送水管	(六六)
第五	量水井	(六六)
第六	填素減菌裝置	(六六)
第七	配水池	(六六)
第八	量水計室	(六七)
第九	鑄鐵配水本・支管	(六七)
第二〇	配水管附帶設備	(六七)
第二一	給水區域、人口、給水量及水額	(六八)

第二二	給水戸數	(六八)
第二三	給水料及量水器使用料收入額	(六九)
第二四	水質試驗	(六九)
第一六編	雜	
第一	官公署	(七〇)
第二	新聞	(七二)
第三	主ナル旅館	(七三)
第四	名勝史蹟天然物其他	(七四)

◎第一編 總說

第一 地勢交通

四日市市ハ東徑一三六度三八分四一秒、北緯三四度五七分三七秒(四日市港舊燈臺跡ニ於テ)ノ位置ニ在リテ三重縣ノ北部ニ位シ東西四杆二八南北八杆三六面積一、ホ一五陌餘ニシテ、東方一帶ハ森漫タル伊勢灣ニ面シ汽船ノ航走帆船ノ徂徠繁クハ昔海邊ニ愛知縣知多半島ト相對シ、天氣晴朗ノ日ニハ南方雲烟ノ間ニ伊勢灣ノ神島ノ島影ヲ、北方黒煙ノ棚引ク處名古屋城金鯨ノ模糊タル姿態ヲ望見スルコトヲ得、西分道ニ鈴鹿連峯ハ翠巒屹然トシテ碧空ニ聳エ、市ノ境域ハ三重郡ノ平野ヲ經テ北ニ起伏セル丘陵ヲ負フノミニシテ、市街平坦、海藏、三瀧、大井ノ諸川市中ヲ貫流シテ風致ヲ添ヘ水利ニ便ス、海濱亦白砂青松ノ地ニ富ム、更ニ地ノ利ニ於テ我カ四日市港ハ神戸、橫濱ノ中間ニ位シ本邦重要貿易港ノ一トシテ、内地、沿海、滿鮮諸港、及歐米各國ト通商運輸ノ鍵鑰ヲ把握ス、陸ニハ省線關西線、私設參宮急行電鐵(元伊勢電氣鐵道)三重鐵道、三岐鐵道等ノ各線縱橫ニ通ジテ能



ク後方地域並ニ本邦各地トノ連絡ヲ保チ、今ヤ全ク中部日本ニ於ケル國際商港トシテ眞ニ海陸要衝ノ地ヲ占ムルニ至レリ。

第二 沿革

本市ハ今ヲ去ル凡ソ九百七十餘年前村上天皇ノ御世、(紀元一、六二二年)三重郡芝田郷ノ一部トシテ伊勢大神宮ノ神領トナリシニ始ル、後土門天皇ノ文明二年(紀元一、一三〇年)倭秀郷ノ後裔田原美作守忠秀、今ノ鶴森神社ノ地ニ築城シテヨリ百五年、天正三年(紀元二、二三五年)織田信長ノ領地ニ屬シ、次テ慶長五年(紀元二、一六〇年)關ヶ原ノ合戦ニヨリ天下ノ大勢茲ニ定マリ、徳川家康ノ領スル所トナル、同六年東海道ノ一驛トナリ、同八年陣屋ヲ今ノ第一小學校々地ニ造營セリ、一面海路熱田ニ通スル舟行ノ便開ケテ漸次旅人ノ來往繁ク商業益々盛ニ戸口亦膨脹ヲ來シ遂ニ一市街ヲ形成スルニ至レリ、爾來徳川氏ノ泰平ヲ謳歌スルコト二百六十餘年、次テ郡山藩主ノ所領ニ屬スルコト七十五年ニシテ、再ヒ天領(紀元二、四六一年)トナレリ、慶應四年大政古ニ復スルニ及ビ、一時龜山、菟

野兩藩預領トナリシモ、廢藩置縣ノ令出テ明治元年七月大津縣ヲ置クニ至リテ其ノ管下ニ轉屬シ、明治二年八月更ニ度會縣全四年七月安濃津縣ノ支配ヲ經テ明治五年三月舊三重縣全九年四月現在ノ三重縣管轄ニ屬スルニ至レリ。明治維新ノ頃ハ僅ニ熱田ニ至ル舟運ト東海道五十三次ノ一驛トシテ陸運ノ便アルノミナリシガ、明治六年四日市港開拓ノ恩人、稻葉三右衛門氏ノ港灣開築、運河改鑿ノ舉アリ、又三菱合資會社(現日本郵船株式會社)ガ橫濱四日市間ノ定期航路ヲ開始スルニ及ビテ、旅客ノ來往貨物ノ集散頓ニ増加シ、四日市ノ名聲漸ク世上ニ喧傳セラレ、而シテ明治十六年今ノ舊港完成ト相前後シテ、會社工場ノ勃興ヲ見ルニ至リ商工業著シク發達シ、明治二十二年町村制實施ト共ニ、四日市、濱田、濱一色及隣接村赤堀、末永ノ一部ヲ合シテ四日市町ヲ置ク、明治二十三年關西鐵道株式會社ニ據リテ四日市草津間ノ鐵道開通ヲ見ルニ至リテ、陸運大イニ開ケ東西交通ノ要衝海陸連絡ノ焦点トナリ、明治三十年八月一日遂ニ市制ヲ施行セリ、爾來港灣ノ發達ト共ニ各種ノ工場會社相踵イデ起リ、商工業界ニ一段ノ進況ヲ呈シ、昭和五年一月一日隣村埴濱、海藏ノ二ヶ村ヲ編入シテ一躍中都市ノ班ニ列ス、同ジク七年三月卅一日巨費ヲ投ジテ企工セル上水道工事完成ヲ告ゲ、

一面都市計畫ニ依ル區劃整理及其他ノ事業亦漸次進行シ、更ニ昭和十一年開催ノ四日市大博覽會ヲ契機トシ、日本板硝子工場ヲ始メ逐時羊毛工業及其他工場ノ新設等市勢隆々トシテ今日ノ盛運ヲ見ルニ至レリ

第三 四日市港

四日市港ハ明治二十二年特別輸入港ニ全三十年特別輸出入港ニ指定セラレ、全三十二年遂ニ開港場トナレリ、次デ明治四十三年五月内務省港灣調査會ニ於テ第二種重要港灣ニ選定セララル。於茲明治四十三年七月十七日縣營ノ下ニ大規模ノ築港工事ヲ起セリ、之即チ本港第一期修築工事(工費六百八拾壹萬餘圓)ニシテ昭和三年七月三十一日竣工、續イテ翌四年四月一日第二期修築工事(工費貳百拾七萬餘圓)ニ着手昭和十年度完成シ、國際的商港ノ機能ヲ遺憾ナク發揮シ海港四日市市ノ前途寔ニ洋々タルモノアリ。

(附) 一、港灣設備

- 一、防波突堤延長 舊防波突堤延長 貳百六十六間
旭防波突堤延長 八百六十間
- 一、航路延長 參百六拾間 巾七拾五間(水深大潮干潮面下參拾尺)
- 一、船溜面積 貳拾八萬六千八百貳拾坪(水深大潮干潮面下貳拾五尺五寸乃至參拾尺)
 內 九萬壹千參百四拾五坪(水深貳拾五尺五寸)
 壹萬八千百拾參坪(水深貳拾七尺)
 拾七萬七千參百六拾貳坪(水深參拾尺)
- 一、運河延長 千四百六拾五間(水深大潮干潮面下八尺)
- 一、埋立地總面積 貳拾七萬壹千拾壹坪
- 一、物揚場延長 貳千六拾六間
- 一、繫船浮標 八 個(壹萬屯級五個參千屯級參個)
 總屯數參千屯未滿 繫留貳拾四時間毎ニ
- 繫船料 參千屯以上 金 參圓
 參千屯以上 金 七圓
 五千屯以上 金 拾圓

一、臨港鐵道 九軒七三

一、繫船岸壁延長 八拾八間（水深大潮干潮面下貳拾七尺）

一、繫船岸壁延長 參百拾七間（水深大潮干潮面下參拾尺）

一、船舶給水 直接給水 水栓 九個 運搬給水 給水船 貳隻
 （直接給水壹屯ニ付金拾五錢、運搬給水壹屯ニ付金參拾五錢）

二、後方地域ニ於ケル交通

一、關西本線 市中ヲ南北ニ貫通シテ名古屋、大阪湊町ニ至リ東海道線、中央線、參宮線、草津線及ビ和歌山線ニ連絡ス。

一、臨港線 四日市ヨリ分岐シテ埠頭繫船岸壁ニ達ス。

一、參宮急行電鐵 元伊勢電氣鐵道ト稱シ四日市驛ヲ起點トシテ南ハ宇治山田市ニ北ハ桑名ヲ經テ岐阜縣大垣市ニ高速度ノ電車ヲ走ラシタルモ昭和十一年九月十五日參宮急行電鐵ニ合併セラレ名古屋乘入モ近ク實現セラレントスルノ趨勢ニアリ。

一、三重鐵道 參急電鐵諏訪驛ヨリ西及ビ南ニ各一線ヲ起シ後方郡都ニ至ル。

一、三岐鐵道 本港ヨリ東海道線關ヶ原ニ達スル全線開通モ近キ將來ニシテ既ニ富田支線ハ運輸營業ヲ開始セリ、本鐵道ハ主トシテ其ノ沿線ノ小野田、淺野ニ大セメント工場ノ貨物輸送ニ任ジ、本市ヲ中心トスル後方地域ノ産業開發上重要ナル鐵道ナリ。

◎第二編 土地

第一 有租地

（昭和十二年四月一日現在）

地目	面積	賃賃價格	地租
畑田	76,554 ^{アール}	1,51,123 ^円	4,012 ^円
其他地	10,113	10,936	420
計	86,667	1,62,059	4,432

一面近ク布設セラルベキ省線勢江鐵道ニ連絡シ、更ニ日本海ヲ經テ北鮮諸港及露領浦蘆斯德ニ及ビ進ンデ京圖線並北滿鐵道ニ接シテ滿蒙新國家ノ資源開發ニ資シ、遠ク歐洲各國ニ通スル國際的重要交通系路ヲナスモノナリ。

種別	面積	種別	面積
堤道	5,862 ^{アール}	溝	3,381 ^{アール}
塘路	6,670	洲渠	3,111

（昭和十二年四月一日現在）

種別	學校名	學級數	○第四編 教育					職業別	昭和十一年		全十年	全九年	全八年	全七年
			男	女	計	計	計							
第一	第一尋常小學校	二八	一,一七二	一,八七三	三,〇四五	三,六六一	三,八六一	三,八六一	三,八六一	三,八六一	三,八六一	三,八六一	三,八六一	
第二	第二尋常小學校	三三	一,二八二	一,九三三	三,二一五	三,九〇八	三,九〇八	三,九〇八	三,九〇八	三,九〇八	三,九〇八	三,九〇八	三,九〇八	
第三	第三尋常小學校	一八	八,三九〇	九,九六三	一八,三五三	一八,八三三	一八,八三三	一八,八三三	一八,八三三	一八,八三三	一八,八三三	一八,八三三	一八,八三三	
第四	第四尋常小學校	二四	二,〇九〇	二,二七二	四,三五二	四,八二二	四,八二二	四,八二二	四,八二二	四,八二二	四,八二二	四,八二二	四,八二二	
第五	第五尋常小學校	一四	三,八六九	四,四八八	八,三五七	八,八二二	八,八二二	八,八二二	八,八二二	八,八二二	八,八二二	八,八二二	八,八二二	
第六	第六尋常小學校	一四	一,七七七	一,四八八	三,二六五	三,二六五	三,二六五	三,二六五	三,二六五	三,二六五	三,二六五	三,二六五	三,二六五	
第七	第七尋常小學校	二四	三,八六九	三,二四二	七,一一一	七,一〇〇	七,一〇〇	七,一〇〇	七,一〇〇	七,一〇〇	七,一〇〇	七,一〇〇	七,一〇〇	
第八	第八尋常小學校	八	二,〇九〇	二,二七二	四,三五二	四,八二二	四,八二二	四,八二二	四,八二二	四,八二二	四,八二二	四,八二二	四,八二二	
第九	第九尋常小學校	一五	一,二八二	一,三三三	二,六一五	二,六一五	二,六一五	二,六一五	二,六一五	二,六一五	二,六一五	二,六一五	二,六一五	
第十	第十尋常小學校	二五	二,〇九〇	二,二七二	四,三五二	四,八二二	四,八二二	四,八二二	四,八二二	四,八二二	四,八二二	四,八二二	四,八二二	
計		一五九	二〇,〇三三	二二,〇七三	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	
昭和十一年		一五九	二〇,〇三三	二二,〇七三	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	
全十年		一五九	二〇,〇三三	二二,〇七三	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	
全九年		一五九	二〇,〇三三	二二,〇七三	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	
全八年		一五九	二〇,〇三三	二二,〇七三	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	
全七年		一五九	二〇,〇三三	二二,〇七三	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	四二,一〇六	

一五

(昭和十二年五月一日現在)

職業別	第三 職業別戶數					北高計
	昭和十一年	全十年	全九年	全八年	全七年	
農業	七〇〇	七五〇	七六八	七七七	七九二	二七
水産	三〇〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三六
工業	二,五五五	二,五〇四	二,五八五	二,三〇〇	二,二二二	二七九
交通	四,八七〇	四,七九六	四,六六五	四,六七一	四,六六九	三三
公務及自由業	一,九〇五	一,八六五	一,八八八	一,八八八	一,七九二	一七九
家事使用人	一〇七	一〇〇	九二	八七	八六	八
其他ノ有業者	八九	九〇	九二	八七	八六	八
無職業	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇
合計	三,三〇二	三,三六一	三,三六一	三,三六一	三,三六一	三,三六一

第四 職業別人口

(昭和十一年十月一日現在)

一四

第三 市立幼稚園

(五月一日現在)

年別	幼稚園數		組數	教員數	保母	園		計
	男	女						
昭和十二年	三	三	三	二	二	三	三	四〇
昭和十一年	三	三	三	二	二	三	三	四〇
昭和十年	三	三	三	二	二	三	三	四〇
昭和九年	三	三	三	二	二	三	三	四〇
昭和八年	三	三	三	二	二	三	三	四〇
全計	一五	一五	一五	一〇	一〇	一五	一五	一八〇

第四 市立高等女學校

(昭和十二年四月一日現在)

年次	修業年限	學級數	教員數	生徒數	入學者數	入學步合	年度內經費豫算	昭	
								和	十一年
昭和十二年	四	二	三	八	二	一〇〇	五〇,九七	五〇,九七	五〇,九七
昭和十一年	四	二	三	八	二	一〇〇	五〇,九七	五〇,九七	五〇,九七
昭和十年	四	二	三	八	二	一〇〇	五〇,九七	五〇,九七	五〇,九七
昭和九年	四	二	三	八	二	一〇〇	五〇,九七	五〇,九七	五〇,九七
昭和八年	四	二	三	八	二	一〇〇	五〇,九七	五〇,九七	五〇,九七
全計	二〇	一〇	一五	四〇	一〇	五〇〇	二五〇,四八五	二五〇,四八五	二五〇,四八五

第五 市立商工學校

(昭和十一年末現在)

學年級	學年級別		合計
	商業科	工業科	
第一級	二	二	四
第二級	一	一	二
合計	三	三	六

第六 青年學校

(昭和十一年末現在)

學校名	學年級		合計
	第一級	第二級	
共同青年學校	三	三	六
濱田青年學校	三	三	六
納屋青年學校	三	三	六
同和青年學校	三	三	六
同盟青年學校	三	三	六
合計	一五	一五	三〇

場		天理教敷島大教會東海分教會萩原支 教會港宣教所 神道御獄教天誠教會所		西 濱町		眞宗本願寺派泗水説教所		中納屋町	
高野山大師教會四日市支部	北納屋町	眞宗木邊派星野説教所	眞宗高田本山專修寺	四日市出張説教所	眞宗高田派説教所	眞宗高田派説教所	眞宗高田派説教所	眞宗高田派説教所	眞宗高田派説教所
高野山大師教會泗水支部	南納屋町	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺
高野山總寺院説教所	南納屋町	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺
建福寺出張説教場	南納屋町	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺
德田説教場	袋田	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺
眞宗高田派説教所	濱一色	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺	眞宗高田本山專修寺

第二 感化慈善

(昭和十一年十二月末日現在)

第三 市營住宅

(昭和十二年四月一日現在)

名稱	創立年月	目的	經營者	被救濟人居房建坪	前年現在	入所	出所	現在
四日市佛教保育院	大正五年十月	貧兒救濟	---	七	八	七	一	七
慈光園	大正九年四月	盲人教育	---	三	三	三	二	三
雙葉樂園	昭和五年十月	幼兒保育	---	三	三	三	一	三
四日市養老院	昭和五年十二月	養老事業	---	七	八	七	一	七

所在地	建設年月	敷地坪數	建物坪數	戶數	最高價	最低價
稻葉町	大正十三年二月	六九 ^坪	三三 ^坪	六	八、八〇	六、〇〇
新濱町	全十二年十月	一、〇〇	四八	六	八、〇〇	五、五〇
川原町	全十三年十一月	五三	四六	三	六、七〇	五、八〇
大字末永	全十五年十月	三〇〇	九六	八	九、三〇	六、五〇
三ッ谷	全十五年十二月	二〇〇	七三	六	九、四〇	六、五〇
東阿倉川	昭和二年六月	一八〇	七三	六	七、五〇	六、三〇
東阿倉川	全六年十一月	五〇	七三	四	九、五〇	七、五〇

第四 職業紹介所

(昭和十二年四月一日現在)

所在地	創立年月	專任職員	兼任職員	求人數	求職者數	就職者數
市役所内	大正十年四月	二	一	一、八、〇〇〇	二、〇〇〇	九八

今次事業ノ影響ニ依リ軍需工場方面ノ求人並求職者頓ニ激増シ之ガ勞務要員ノ充足狀況甚ダ良好ナリ

第五 赤十字社、掖濟會、婦人會

(昭和十二年四月一日現在)

名稱	員數	備有印章	特別	通	常	合計
日本赤十字社	一、五〇〇	特	別	通	常	一、五〇〇
日本海員掖濟會	一、二〇〇	特	別	通	常	一、二〇〇
愛國婦人會	一、六二六	特	別	通	常	一、六二六

第二 消防組

(昭和十二年四月一日現在)

消防	名 稱		種別	部 數	組 員		計	自動 腳踏 車	ガソリン 腕 用
	四日市消防組	市設			組 頭	小 頭			
	九	九		九	一	九	一	六	四

第三 火 災

(昭和十一年中)

火 災	出 火 度 數	罹 災 戶 數	火 災 損 害 高
	三	二	二四、九五〇

第八編 農 業

第一 四日市市農會

(四月一日現在)

年 次	會 員 數	職 員				年 度 內 經 費 豫 算
		會 長	副 會 長	幹 事	評 議 員	
昭和十二年	一、六五	一	一	一	一〇	三、三八五
十一年	一、六八	一	一	一	一〇	三、四三三
十年	一、六〇〇	一	一	一	一〇	三、二六〇
九年	一、六五	一	一	一	一〇	二、九八二
八年	一、六〇〇	一	一	一	一〇	二、六五五

第二 作付田畑別及自小作反別

(昭和十一年十二月末日現在)

田	桑 樹 果 實 其 他 樹 木		其 他 計	普 通 ノ 裏 作	綠 肥 ノ 裏 作	合 計
	植 付 タル モ	ノ				
自 作	一、三三九反	一、三三九反	一、三三九反	六、〇三三反	五反	六、〇八三反
小 作	二、七四九反	二、七四九反	二、七四九反	六、〇三三反	五反	六、〇八三反
反 別	三、〇八八反	三、〇八八反	三、〇八八反	六、〇三三反	五反	六、〇八三反
畑	三、〇八八反	三、〇八八反	三、〇八八反	六、〇三三反	五反	六、〇八三反
合 計	六、〇八八反	六、〇八八反	六、〇八八反	六、〇三三反	五反	六、〇八三反

第三 農作物收穫高

年 次	米			麥			薯			其他雜農產		
	作付反別	收穫高	價格	作付反別	收穫高	價格	作付反別	收穫高	價格	作付反別	價格	
昭和十一年	七〇、一四反	一五、七五三石	四六六、三六五円	六、九五反	一、〇一九石	一三、七七一円	四、三三反	三、三三三石	六、八、四〇〇円	七、〇八反	三〇、二四六円	
十年	七〇、一四反	一四、九四四石	四四五、三三三円	六、九五反	一、〇五八石	一〇、九八四円	四、一、三三反	三、三、七六石	五、八、二二六円	七、〇、八三六	三〇、三、七四	
九年	七三、三、六	九、七、七五	三、七、九、八、六〇	七、三、〇	一、〇、八、九	一〇、一、九、二	四、〇、〇、三	三、四、四、六	四、八、七、九二	七、〇、八	三〇、八、三六	
八年	七八、二	一八、三、三、四	三、九、九、八、六	七、二、四	九、三、三	八、八、七、九	三、八、三、六	二、四、四、五	四、二、四、三	七、七、〇	三〇、七、九八	
七年	七五、二	一七、一、一	三、八、八、五〇	七、一、二	一、〇、九、〇	九、八、八、八	三、八、一、〇	二、五、一、五	四、一、二、三	七、七、六	三〇、七、八	

第四 養 蠶

種別	給日別年	第二 勞働賃錢 (昭和十一年中平均)			
		最高	普通	最低	最低
農作日雇女男	全日給	一、八三〇	一、一〇〇	一、〇〇〇	一、二〇〇
植木職	全	二、〇〇〇	一、三〇〇	一、〇〇〇	一、四〇〇
養蠶雇女男	全	一、七〇〇	一、一〇〇	一、〇〇〇	一、二〇〇
漆器(塗師)職工	全	一、三〇〇	一、一〇〇	一、〇〇〇	一、二〇〇
陶器職工	全	一、三〇〇	一、一〇〇	一、〇〇〇	一、二〇〇
機械鍛冶工	全	二、一〇〇	一、四〇〇	一、一〇〇	一、五〇〇
鑄物工	全	二、〇〇〇	一、四〇〇	一、一〇〇	一、五〇〇
榨油工	全	二、五〇〇	一、六〇〇	一、二〇〇	一、八〇〇
製綿工	全	一、六〇〇	一、一〇〇	一、〇〇〇	一、二〇〇
紡績職工女男	全	一、九〇〇	一、三〇〇	一、一〇〇	一、四〇〇
機械織女工	全	一、三〇〇	一、一〇〇	一、〇〇〇	一、二〇〇
製網職工女男	全	一、三〇〇	一、一〇〇	一、〇〇〇	一、二〇〇
製材(機械挽)工	全	一、三〇〇	一、一〇〇	一、〇〇〇	一、二〇〇
指物工	全	一、三〇〇	一、一〇〇	一、〇〇〇	一、二〇〇

三五



品目	製造場數	職工數	第一 主要工業產物 (昭和十一年十二月末日現在)			
			昭和十一年全	十年全	九年全	八年全
織物	四	四〇〇人	三、〇三二、一六四	三、〇四六、一四四	三、〇〇八、五七七	二、七五七、四三三
陶磁器	一八	三、五二二	五、四八〇、〇〇〇	五、四四九、〇〇〇	五、三六六、〇〇〇	四、五五八、〇〇〇
食料製品	五	三三三	一、〇三四、四八八	一、〇三三、四八八	八八七、八九九	九五五、二九二
金屬製品	三	三三三	六五三、〇〇五	六五三、〇〇五	四九四、二二九	三三八、八八三
紡織製品	一〇	一、四一四	一五、九八二、三六六	一四、八九九、六八七	一五、三三三、四六〇	一一、二七二、四八〇
植物油及油粕	六	元二	七、三〇九、七〇〇	六、六九二、六八九	五、五五〇、九二〇	三、五八〇、七九元
木製品及製材製板	一〇一	三三三	六、一七、九八八	五、八、〇〇九	六、〇七、二四八	六、三三、〇〇九
化學工業製品	二	二二	一、九七、九二〇	一、八五、三三〇	一、八五、三三〇	一、六九三、五〇〇
機械器具製品	四	二八	一、五三三、九九五	一、五三〇、六三三	一、二七、九二五	九〇九、一一〇
其他	二	二六	九四、四〇一	八七、九五五	八三、三九五	一、二八、八三〇
合計	四四	七、八〇〇	三六、六三、七七七	三五、五八、〇二七	三五、一三〇、〇三三	二七、八九、五五五

第一〇編 工業業

全	全	全
七	八	九
年	年	年
四、五〇三	四八、三六六	五四、一八〇
二八、五七四	一四、九六八	一六、一四三
二七六、九一〇	九八、三〇〇	八九、五〇七
一〇、五五五	三、三三三	七、一〇〇

三四

品名	立物名稱	單位	平均價格				
			昭和十一年	全十年	全九年	全八年	全七年
內地米	三等	石	3,070	2,968	2,565	2,299	2,370
內地米	四等	石	2,808	2,833	2,783	2,188	2,332
朝鮮米	蓬萊	斤	2,921	2,900	2,800	2,028	2,022
臺灣米	蓬萊	斤	2,026	1,966	1,900	1,753	1,766
大麥	三	全	2,333	3,108	3,141	2,523	2,209
小麥	北	全	2,593	3,077	3,033	2,823	2,356
大豆	海道	斤	4,133	6,367	6,100	6,162	5,020
小豆	北	全	8,556	8,823	6,471	6,122	6,120
小麥	鐵	全	8,020	7,008	5,726	4,122	5,888
甘藷	鐵	全	2,820	2,722	2,727	2,021	2,633
馬鈴	鐵	全	3,388	3,729	3,388	3,122	3,101
清酒	鐵	石	1,122	1,122	1,122	1,122	1,122

第五 諸物價

18

名稱	創始年	位置	賣買品目	開市日				
				昭和十一年	全十年	全九年	全八年	全七年
磯津丸共魚市場	明治十五年	大字鹽濱	鮮魚類	日	日	日	日	日
四日市青物水產合資會社	全三十五年	四ッ谷	蔬菜果實	日	日	日	日	日
合資會社三重蘭糸店	全三十二年	沖ノ島	繭生絲	日	日	日	日	日
三重常設家畜市場	大正二年	大字末水	牛馬賣買	日	日	日	日	日
株式會社四日市青物海產物市場	全五年	四ッ谷	蔬菜果實	日	日	日	日	日
合資會社平野魚問屋	全十一年	北條町	生鹽乾魚	日	日	日	日	日
九合水產株式會社	全十二年	南納屋町	鮮魚類	日	日	日	日	日
四日市水產株式會社	昭和四年	濱町	生鹽乾魚	日	日	日	日	日

名稱	創始年	位置	賣買品目	開市日
四日市製油業組合	明治十五年	大字鹽濱	鮮魚類	日
北勢瓦全業組合	全三十五年	四ッ谷	蔬菜果實	日
四日市染色練業組合	全三十二年	沖ノ島	繭生絲	日
三酒養鷄組	全五年	四ッ谷	蔬菜果實	日
四日市大工業組合	全十一年	北條町	生鹽乾魚	日

名稱	創始年	位置	賣買品目	開市日
四日市組合銀行	明治十五年	大字鹽濱	鮮魚類	日
四日市製油業組合	全三十五年	四ッ谷	蔬菜果實	日
北勢瓦全業組合	全三十二年	沖ノ島	繭生絲	日
四日市染色練業組合	全五年	四ッ谷	蔬菜果實	日
三酒養鷄組	全十一年	北條町	生鹽乾魚	日
四日市大工業組合	全十二年	南納屋町	鮮魚類	日

第四 市場

六三六
 廣末沖橋濱中
 八
 幡
 町町島南色町

40

菜種油粕	大豆油粕	鍊榨粕	洋紙	半紙	美濃紙	薪炭	木炭	粉炭	塊炭	石炭	菜種油	松丸	松六角	松三分	セメント	洋塊	羽二重	甲斐絹
		北海道	機械紙			淺中			編蝠印			末口四寸三間物	長四寸厚尺	巾野セメント			福井	編
十一貫	十一貫	一連(一斤八貫)	一百帖	全十貫	全十貫	一萬斤	一箱(二罐入)	一石	一本	一坪	一挺	一樽	一貫	一貫	一貫	一貫	一貫	一貫
三、四八	二、三三	五、七〇	八、一〇	一、六八	二、八〇	〇、七〇	二、七五	九、〇〇	二、七五	二、八〇	四、五〇	一、一〇	一、一〇	三、八〇	二、一〇	一、〇一	三、一〇	三、一〇
三、〇三	一、八七	四、八八	七、七二	一、五七	三、〇〇	二、六〇	二、六〇	九、五三	二、八三	四、四六	三、〇〇	一、〇九	一、〇九	四、二五	二、〇〇	八、二七	二、三三	二、三三
三、二六	一、五七	四、三〇	七、九七	一、六八	一、九一	二、〇〇	二、二〇	八、二五	二、三二	二、一〇	三、一五	一、〇九	一、〇九	四、〇〇	一、九八	八、二七	二、三三	二、三三
三、四九	一、六八	四、四八	七、八三	一、六八	一、〇〇	二、〇八	二、〇八	八、〇三	二、七〇	五、四〇	三、一七	一、〇八	一、〇八	四、三三	一、八八	九、二八	三、〇〇	三、〇〇
三、三六	一、〇〇	三、九〇	六、四八	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	五、〇八	〇、〇〇	四、四八	四、〇〇	一、〇一	一、〇一	四、三三	一、三三	九、二八	三、〇〇	三、〇〇

白生モスリ	晒木綿	白木綿	生糸	黃砂	食糖	澤糖	梅干	鷄卵	牛節	鯉節	煎茶	赤味噌	醬油	麥酒
			玉座器	三盆	三盆	三盆	地骨	木骨	川柳	川柳	川柳	川柳	川柳	川柳
一貫	一貫	一貫	一貫	一貫	一貫	一貫	一貫	一貫	一貫	一貫	一貫	一貫	一貫	一貫
五、五五	〇、一〇	八、八三	五、七〇	九、九六	四、五〇	五、二七	六、八〇	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八
三、四三	八、八三	五、七〇	九、九六	四、五〇	五、二七	六、八〇	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八
七、七四	八、八三	五、七〇	九、九六	四、五〇	五、二七	六、八〇	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八
三、四三	八、八三	五、七〇	九、九六	四、五〇	五、二七	六、八〇	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八

過燐酸石灰	全	二,三三〇	一,二七〇	一,一七〇	一,一七九	一,一四〇
硫酸アンモニア	全	四,〇八八	三,九七五	三,五三三	三,五七〇	二,六三三

第六 銀行 (昭和十二年四月一日現在)

種別	昭和十一年	全十年	全九年	全八年	全七年
普通貯蓄	一	一	一	一	一
支店貯蓄	五	一	一	一	一
代理店貯蓄	一	一	一	一	一
合計	一	一	一	一	一

第七 銀行取引

種別	昭和十一年	全十年	全九年	全八年	全七年
預金	三三,〇三三,七六〇	三三,〇八〇,三三〇	三三,〇二五,八〇〇	三三,〇八三,五三三	三三,〇四七,九六〇
貸出金	七〇,〇八八,三五五	三三,〇三三,〇〇〇	三三,〇三三,〇三三	三三,〇三三,〇三三	三三,〇三三,〇三三
送金爲替	三三,〇三三,〇三三	三三,〇三三,〇三三	三三,〇三三,〇三三	三三,〇三三,〇三三	三三,〇三三,〇三三
代金取立	三三,〇三三,〇三三	三三,〇三三,〇三三	三三,〇三三,〇三三	三三,〇三三,〇三三	三三,〇三三,〇三三
貯蓄預金	八,〇八一,八八八	七,五五九,〇九五	七,五五九,〇九五	六,六四二,〇九二	六,六四二,〇九二

第八 郵便貯金

種別	昭和十一年	全十年	全九年	全八年	全七年
貯金預り高	二,八八八,三九四	二,三三三,四三三	二,二四四,五七七	二,〇九六,五七七	四,九八八,八三三
貯金拂戻高	二,五〇〇,三六六	二,三三三,四三三	二,二四四,五七七	二,〇九六,五七七	二,九二二,四三三
爲替引受高	七〇〇,九二二	六六一,四三三	六六一,四三三	五三三,三九九	六六六,七七七
爲替拂渡高	八八八,二〇〇	八八八,二〇〇	八八八,二〇〇	八八八,二〇〇	八八八,二〇〇

第九 度量衡取締

取締年度	検査戸數	検査器物總個數	度量衡器總數	不適合器總數	計量器總數	不適合器總數
昭和十一年	一,八〇〇	一五,六三二	一,一七五	三三	二,六八八	四〇
全十年	三,八三三	三三,八三五	二,五三三	三三	二,九六九	七
全九年	三,四〇七	二七,六六〇	二,四九九	九	二,〇七六	一
全八年	三,一六五	二二,四三六	二,〇七五	八	一,七二六	一

四五

第三		外國貿易入港船噸數別		第四		外國貿易入港船航路別	
年次	船數	噸數	一萬噸以上	七千噸以上	五千噸以上	三千噸以上	三千噸以下
昭和十一年	三三	一,六六,七六	一	四	一〇〇	六	二
全十年	三六	一,八二,七八	—	四	八	六	—
全八年	三六	一,三三,七〇	—	四	九	六	—
全七年	三三	一,三九,二二	—	四	九	六	—
全七	三三	一,五八,一四	—	四	九	六	—
航路名	隻	數	航路名	隻	數	航路名	隻
滿洲	三	一,〇〇	滿洲	一	一,〇〇	滿洲	一
中國	三	一,〇〇	中國	一	一,〇〇	中國	一
英領印度	三	一,〇〇	英領印度	一	一,〇〇	英領印度	一
露領沿海洲	一	一,〇〇	露領沿海洲	一	一,〇〇	露領沿海洲	一
歐洲	三	一,〇〇	歐洲	一	一,〇〇	歐洲	一
合計	三三	一,六六,七六	合計	三三	一,六六,七六	合計	三三

第五 內國貿易入港船種別

種別	船種	船數	客登	船簿	船噸	數	登	船簿	船噸	數	登	船簿
汽船	汽船	三	一,〇〇	三	一,〇〇	三	一,〇〇	三	一,〇〇	三	一,〇〇	三
帆船	帆船	九	九,三六	九	九,三六	九	九,三六	九	九,三六	九	九,三六	九
合計	合計	一二	一〇,三六	一二	一〇,三六	一二	一〇,三六	一二	一〇,三六	一二	一〇,三六	一二

第六 貿易額

年次	內國貿易額		外國貿易額		合計	
	移出	移入	輸出	輸入	輸出	輸入
昭和十一年	三,四七,六〇	三,〇七,二四	七,三〇,三三	六,一四,五八	一三,四〇,九一	一三,四〇,九一
全十年	三,〇一一,七七	二,九一,五九	六,五八,四九	七,〇,七六	一三,五九,二五	一三,五九,二五
全九年	二,七三,二〇	二,三九,八四	六,三三,四二	五,六八,九七	一二,〇二,三九	一二,〇二,三九
全八年	二,〇,四九	二,〇,七九,八一	三,七三,五六	三,七三,五六	七,四六,〇五	七,四六,〇五
全七年	一,〇,九六,三六	一,八,七六,七七	三,四四,一八	一五,六四,五三	一六,六八,七一	一六,六八,七一
月別	旅客	降客	發貨	送貨	到貨	着貨
一月	九〇,八五	九〇,二七	三七,四七	三七,四七	一,一〇,〇〇	一,一〇,〇〇
二月	七九,八〇	七九,四八	三五,三五	三五,三五	一,〇〇,〇〇	一,〇〇,〇〇
三月	九〇,九〇	九〇,九〇	三七,四七	三七,四七	一,一〇,〇〇	一,一〇,〇〇

第七 省線四日市驛及港驛午起驛旅客並貨物月別

月別	私設鐵道市内驛旅客月別											
	四	三	二	一	計	十	九	八	七	六	五	四
月	月	月	月	月	計	月	月	月	月	月	月	月
乘重	三六,三〇九	三四,九八〇	三三,一七二	三二,〇〇九	一,三〇三,五二	三六,三〇九	三四,九八〇	三三,一七二	三二,〇〇九	一,三〇三,五二	三六,三〇九	三四,九八〇
降道	三六,三〇九	三四,九八〇	三三,一七二	三二,〇〇九	一,三〇三,五二	三六,三〇九	三四,九八〇	三三,一七二	三二,〇〇九	一,三〇三,五二	三六,三〇九	三四,九八〇
參乘	三三,一七二	三二,〇〇九	三〇,八八八	二九,七六七	一,三〇三,五二	三三,一七二	三二,〇〇九	三〇,八八八	二九,七六七	一,三〇三,五二	三三,一七二	三二,〇〇九
急客	三二,〇〇九	三〇,八八八	二九,七六七	二八,六四六	一,三〇三,五二	三二,〇〇九	三〇,八八八	二九,七六七	二八,六四六	一,三〇三,五二	三二,〇〇九	三〇,八八八
行鐵道	二九,七六七	二八,六四六	二七,五二五	二六,四〇四	一,三〇三,五二	二九,七六七	二八,六四六	二七,五二五	二六,四〇四	一,三〇三,五二	二九,七六七	二八,六四六
降道	二八,六四六	二七,五二五	二六,四〇四	二五,二八三	一,三〇三,五二	二八,六四六	二七,五二五	二六,四〇四	二五,二八三	一,三〇三,五二	二八,六四六	二七,五二五
計	一,三〇三,五二	一,三〇三,五二	一,三〇三,五二	一,三〇三,五二	一,三〇三,五二	一,三〇三,五二	一,三〇三,五二	一,三〇三,五二	一,三〇三,五二	一,三〇三,五二	一,三〇三,五二	一,三〇三,五二

五〇

月別	私設鐵道市内驛貨物月別											
	四	三	二	一	計	十	九	八	七	六	五	四
月	月	月	月	月	計	月	月	月	月	月	月	月
乘重	二六,二七二	二五,一五二	二四,〇三二	二二,九一二	一,二七六,五三	二六,二七二	二五,一五二	二四,〇三二	二二,九一二	一,二七六,五三	二六,二七二	二五,一五二
降道	二六,二七二	二五,一五二	二四,〇三二	二二,九一二	一,二七六,五三	二六,二七二	二五,一五二	二四,〇三二	二二,九一二	一,二七六,五三	二六,二七二	二五,一五二
參乘	二二,九一二	二一,八〇一	二〇,七一〇	一九,五八〇	一,二七六,五三	二二,九一二	二一,八〇一	二〇,七一〇	一九,五八〇	一,二七六,五三	二二,九一二	二一,八〇一
急客	二一,八〇一	二〇,七一〇	一九,五八〇	一八,四九〇	一,二七六,五三	二一,八〇一	二〇,七一〇	一九,五八〇	一八,四九〇	一,二七六,五三	二一,八〇一	二〇,七一〇
行鐵道	一九,五八〇	一八,四九〇	一七,四〇〇	一六,三一〇	一,二七六,五三	一九,五八〇	一八,四九〇	一七,四〇〇	一六,三一〇	一,二七六,五三	一九,五八〇	一八,四九〇
降道	一八,四九〇	一七,四〇〇	一六,三一〇	一五,二二〇	一,二七六,五三	一八,四九〇	一七,四〇〇	一六,三一〇	一五,二二〇	一,二七六,五三	一八,四九〇	一七,四〇〇
計	一,二七六,五三	一,二七六,五三	一,二七六,五三	一,二七六,五三	一,二七六,五三	一,二七六,五三	一,二七六,五三	一,二七六,五三	一,二七六,五三	一,二七六,五三	一,二七六,五三	一,二七六,五三

第九 私設鐵道市内驛貨物月別

月別	私設鐵道市内驛旅客月別											
	五	四	三	二	一	計	十	九	八	七	六	五
月	月	月	月	月	月	計	月	月	月	月	月	月
乘重	三六,三〇九	三四,九八〇	三三,一七二	三二,〇〇九	三〇,八八八	一,三〇三,五二	三六,三〇九	三四,九八〇	三三,一七二	三二,〇〇九	三〇,八八八	一,三〇三,五二
降道	三六,三〇九	三四,九八〇	三三,一七二	三二,〇〇九	三〇,八八八	一,三〇三,五二	三六,三〇九	三四,九八〇	三三,一七二	三二,〇〇九	三〇,八八八	一,三〇三,五二
參乘	三三,一七二	三二,〇〇九	三〇,八八八	二九,七六七	二八,六四六	一,三〇三,五二	三三,一七二	三二,〇〇九	三〇,八八八	二九,七六七	二八,六四六	一,三〇三,五二
急客	三二,〇〇九	三〇,八八八	二九,七六七	二八,六四六	二七,五二五	一,三〇三,五二	三二,〇〇九	三〇,八八八	二九,七六七	二八,六四六	二七,五二五	一,三〇三,五二
行鐵道	三〇,八八八	二九,七六七	二八,六四六	二七,五二五	二六,四〇四	一,三〇三,五二	三〇,八八八	二九,七六七	二八,六四六	二七,五二五	二六,四〇四	一,三〇三,五二
降道	二九,七六七	二八,六四六	二七,五二五	二六,四〇四	二五,二八三	一,三〇三,五二	二九,七六七	二八,六四六	二七,五二五	二六,四〇四	二五,二八三	一,三〇三,五二
計	一,三〇三,五二	一,三〇三,五二	一,三〇三,五二	一,三〇三,五二	一,三〇三,五二	一,三〇三,五二	一,三〇三,五二	一,三〇三,五二	一,三〇三,五二	一,三〇三,五二	一,三〇三,五二	一,三〇三,五二

五一

警備費	三、七六六	獎勵費	三、九六六
財產充用積戻費	六、八〇七	補助費	二、三〇〇
公債費	六、二一六	補助費	八、六〇〇
寄附金	二、〇〇〇	都市計畫費	六、五五七
傳染病預防費	一、八四四	貨物價格改訂費	一、五五三
勸業費	二、六六八	雜貨支	四、七五二
港灣費	一、七〇〇	合計	四〇一、三三六
海濱聚落費	一、五〇〇		

第二 上水道費歲入出豫算

科	目	豫算額	科	目	豫算額
一、歲入			一、歲入		
使用料及手数料	六、六六一	寄附金	一〇〇		
補助金	六、〇〇〇	雜收	七〇三		
繰入金	六、六六元	繰入金	五〇〇		
給水工費收入	八、三三二	合計	一、五七三		
合計	二七、〇〇〇				

二、歲出 (經常部)

科	目	豫算額	科	目	豫算額
雜作業務費	出費	三、三〇〇	雜作業務費	出費	三、三〇〇
三、歲出 (臨時部)			三、歲出 (臨時部)		
豫備費	計	一、〇〇〇	豫備費	計	一、〇〇〇
合計	計	三、三〇〇	合計	計	三、三〇〇

第三 診療所費歲入出豫算

科	目	豫算額	科	目	豫算額
一、歲入			一、歲入		
使補助金	六、〇〇〇	繰越金	六〇〇		
縣補助金	一〇〇	合計	三六、三〇〇		
合計	六、一〇〇				

二、歲出

科 目		預算額		科 目		預算額	
科	目	預算額	科	目	預算額	科	目
診療所費	計	五、三六	科	目	預算額	科	目
合計		五、三六	科	目	預算額	科	目
第四 公益質屋歲入出豫算							
一、歲入				二、歲出			
科	目	預算額	科	目	預算額	科	目
事業收入	計	八、四三三	運輸資金繰越金	計	三、〇〇〇	科	目
縣補助金		一、八三九	雜收		八、九六三	科	目
事業補助金		六、五九四	合計		八、九六三	科	目
合計		八、四三三	合計		三、〇〇〇	科	目
科	目	預算額	科	目	預算額	科	目
事務費	計	二、九六六	事務費	計	二、九六六	科	目
公債費		二、六二八	公債費		二、六二八	科	目
業務費		八、〇三九	業務費		八、〇三九	科	目
管理費		一〇〇	管理費		一〇〇	科	目
合計		一三、七三三	合計		一三、七三三	科	目

第五 市有財產

(昭和十一年十二月末日現在)

種別	土地	建物	公債債券	現金
市有基本財產	二、〇〇三	—	—	—
小學校基本財產	—	—	—	—
高等女學校基本財產	—	—	—	—
市有財產	四、七〇九	—	—	—
區有財產	四、二二四	—	—	—
各種資金積立	二、九六六	—	—	—
合計	九、〇〇〇	—	—	—

第六 市債

起債事由	借入年月日	借入元金	現在元金殘額	利率	借入先	償還終期
市營住宅經營	大正一一、三、三一	六、〇〇〇	八、〇〇〇	四厘八厘	信省	昭和一一、三、三一
全上	全一三、五、二三	六、〇〇〇	三、〇〇〇	四厘五厘	日本生命保險株式會社	全一九、三、三一
全上	昭和五、一、一	三、〇〇〇	一、七五〇	四厘五厘	全	全二〇、三、三一
歲計現金	全七、六、二七	四、一〇〇	一、三三三	三厘	重縣	全一七、三、三一
商工學校建築費	全一〇、七、三〇	八〇、〇〇〇	七、〇七八	四厘三厘	日本生命保險株式會社	全一五、三、三一
火葬場改築費	全七、六、二八	二五、〇〇〇	二〇、三三三	四厘二厘	大藏省預金部	全二六、三、三一

市		縣	
全	現住	全	現住
地租附加稅	二,九三三	地租附加稅	五,七五五
特別地稅	三九八	特別地稅	八八九
營業收益稅附加	一,四八六	營業收益稅附加	三,四〇〇
所得稅附加	一,四八八	所得稅附加	一,四七二
取引所營業稅附加	—	取引所營業稅附加	—
家屋稅	五,六六九	家屋稅	五,六六九
營業稅	一,九三三	營業稅	八,八〇〇
雜種稅	八,五三三	雜種稅	九,四七〇
都市計畫特別稅	一,四六五	都市計畫特別稅	二,五五五
計	三,七三三	計	三,七三三
現住一人平均	—	現住一人平均	二,七三三
全一人平均	—	全一人平均	五,七〇九
地租附加稅	二,九三三	地租附加稅	二,八七一
特別地稅附加	三九八	特別地稅附加	三七八
營業收益稅附加	一,四八六	營業收益稅附加	一,四七二
取引所營業稅附加	—	取引所營業稅附加	—
家屋稅附加	五,六六九	家屋稅附加	五,六六九
營業稅附加	一,九三三	營業稅附加	二,一〇六
雜種稅附加	八,五三三	雜種稅附加	八,五三三
都市計畫特別稅附加	一,四六五	都市計畫特別稅附加	一,三三三
計	三,七三三	計	三,七三三
現住一人平均	—	現住一人平均	二,七三三
全一人平均	—	全一人平均	五,〇〇九
地租附加稅	二,九三三	地租附加稅	二,八〇〇
特別地稅	三九八	特別地稅	三九〇
營業收益稅附加	一,四八六	營業收益稅附加	一,三三三
取引所營業稅附加	—	取引所營業稅附加	—
家屋稅附加	五,六六九	家屋稅附加	六,七〇四
營業稅附加	一,九三三	營業稅附加	二,二二六
雜種稅附加	八,五三三	雜種稅附加	七,二〇〇
都市計畫特別稅附加	一,四六五	都市計畫特別稅附加	一,三三三
計	三,七三三	計	三,九〇九
現住一人平均	—	現住一人平均	二,九〇九
全一人平均	—	全一人平均	五,〇〇九
地租附加稅	二,九三三	地租附加稅	二,七三三
特別地稅	三九八	特別地稅	三三三
營業收益稅附加	一,四八六	營業收益稅附加	一,一八〇
取引所營業稅附加	—	取引所營業稅附加	—
家屋稅附加	五,六六九	家屋稅附加	五,四一〇
營業稅附加	一,九三三	營業稅附加	二,一〇〇
雜種稅附加	八,五三三	雜種稅附加	七,一四〇
都市計畫特別稅附加	一,四六五	都市計畫特別稅附加	一,一八〇
計	三,七三三	計	三,一五〇
現住一人平均	—	現住一人平均	二,一五〇
全一人平均	—	全一人平均	四,八〇〇
地租附加稅	二,九三三	地租附加稅	二,六三三
特別地稅	三九八	特別地稅	三三三
營業收益稅附加	一,四八六	營業收益稅附加	一,二〇〇
取引所營業稅附加	—	取引所營業稅附加	—
家屋稅附加	五,六六九	家屋稅附加	五,三〇〇
營業稅附加	一,九三三	營業稅附加	二,〇〇〇
雜種稅附加	八,五三三	雜種稅附加	七,〇〇〇
都市計畫特別稅附加	一,四六五	都市計畫特別稅附加	一,一〇〇
計	三,七三三	計	三,〇〇〇
現住一人平均	—	現住一人平均	二,〇〇〇
全一人平均	—	全一人平均	四,八〇〇

稅	
全	現住
縣稅雜種稅附加	八,五三三
特別稅戶數割計	二,八〇三
計	三,七三三
現住一人平均	—
全一人平均	—
戶數割一月平均	—
縣稅雜種稅附加	九,五三三
特別稅戶數割計	二,四六七
計	四,〇〇〇
現住一人平均	—
全一人平均	—
戶數割一月平均	—
縣稅雜種稅附加	八,五三三
特別稅戶數割計	二,一五三
計	三,三〇〇
現住一人平均	—
全一人平均	—
戶數割一月平均	—
縣稅雜種稅附加	九,〇〇〇
特別稅戶數割計	一,五二八
計	三,〇〇〇
現住一人平均	—
全一人平均	—
戶數割一月平均	—
縣稅雜種稅附加	八,一三三
特別稅戶數割計	一,四〇三
計	三,〇〇〇
現住一人平均	—
全一人平均	—
戶數割一月平均	—
縣稅雜種稅附加	七,二〇〇
特別稅戶數割計	一,二〇八
計	三,〇〇〇
現住一人平均	—
全一人平均	—
戶數割一月平均	—
縣稅雜種稅附加	九,七三三
特別稅戶數割計	一,〇七三
計	三,〇〇〇
現住一人平均	—
全一人平均	—
戶數割一月平均	—
縣稅雜種稅附加	七,三三三
特別稅戶數割計	一,〇七三
計	三,〇〇〇
現住一人平均	—
全一人平均	—
戶數割一月平均	—

◎第一四編 議會及市政

第一 議會

(九月十五日現在)

年次	種別	定員	權			
			昭和十二年	十一年	十年	九年
市參事會	市參事	—	—	—	—	—
	市參事會	—	—	—	—	—
市會議員	市會議員	—	—	—	—	—
	市會議員	—	—	—	—	—
縣會議員	縣會議員	—	—	—	—	—
	縣會議員	—	—	—	—	—
市會議員	市會議員	—	—	—	—	—
	市會議員	—	—	—	—	—

第二 市參事會及市會議員

(四月一日現在)

管種類	管ノ種類	第二導水管位置全		管ノ内徑	管ノ内徑	管ノ延長	第一號井	第二號井	第三號井	名稱	數	種別	內徑	深	上部厚	下部厚	湧出水速度	囑集金託人計	水道集金託人計	看水護金託人計	合		
		管ノ内徑	管ノ延長																				
鑄鐵管	自第一號井至吸水井	三百六十尺	三百六十尺	一尺	一尺	一、五〇	一、五〇	一、五〇	鐵筋混凝土	一	一	一	一、八〇〇	三、八	一、〇〇	一、五〇	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
鑄鐵管	自第二號井至吸水井	二百五十尺	二百五十尺	一尺	一尺	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	鐵筋混凝土	一	一	一	一、八〇〇	三、五	一、〇〇	一、〇〇	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
鑄鐵管	自第三號井至吸水井	三百五十尺	三百五十尺	一尺	一尺	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	鐵筋混凝土	一	一	一	一、八〇〇	三、三	一、〇〇	一、〇〇	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
第一集水井												◎第一五編 上水道											
位置 市外三重村大字生桑字川原崎地内												三 四 二 一											
												八〇、〇〇〇 一、五〇〇 九六〇 一〇〇											

六五

職名	市職人員	昭和十二年	昭和十一年	昭和十年	昭和九年	昭和八年	市役長	助役	主事	技師	書記	技手	掃除員	工務手	市職人員	俸給額	年	額	昭和十二年七月一日現在
市役長	一	〇	〇	〇	〇	〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	六、〇〇〇	一	六、〇〇〇	〃
助役	一	〇	〇	〇	〇	〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二、〇〇〇	一	二、〇〇〇	〃
主事	一	〇	〇	〇	〇	〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	〃
技師	一	〇	〇	〇	〇	〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	〃
書記	一	〇	〇	〇	〇	〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	〃
技手	一	〇	〇	〇	〇	〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	〃
掃除員	一	〇	〇	〇	〇	〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	〃
工務手	一	〇	〇	〇	〇	〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	〃
市職人員	一	〇	〇	〇	〇	〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	〃
（昭和十二年七月一日現在）																			
六四																			

第三 唧筒所		位置 全	
構造種別	桁行梁間一坪	室ノ位置	種量
鐵筋混凝土	二〇九、三三	室ノ位置	種量
	四九八、三三	室ノ位置	種量
	五〇五	室ノ位置	種量
	五五馬力	室ノ位置	種量
	堅軸タービン	室ノ位置	種量
	三臺	室ノ位置	種量
	七吋三段	室ノ位置	種量
	五馬力一臺	室ノ位置	種量
	一馬力一臺	室ノ位置	種量
	補助唧筒	室ノ位置	種量
	真空用	室ノ位置	種量
	排水用	室ノ位置	種量
第四 送水管			
管ノ種類	布設區間	管ノ位置	種量
鑄鐵管	自唧筒所至配水池	管ノ位置	種量
	管ノ延長	管ノ位置	種量
	四〇〇尺	管ノ位置	種量
	三、四尺	管ノ位置	種量
	排氣辨及排泥辨	管ノ位置	種量
第五 量水井			
構造種別	內法長	幅	深
鐵筋混凝土	三三、六	四、〇	四、〇
	深	深	深
	四、〇	四、〇	四、〇
	送水量ノ測定調整	排泥管餘水吐管	附屬設備
第六 鹽素滅菌裝置			
構造種別	桁行梁間一坪	室ノ位置	種量
鐵筋混凝土	一〇〇、三三	室ノ位置	種量
	一〇〇、三三	室ノ位置	種量
	一、二七強	室ノ位置	種量
	獨逸クロレター會社型	室ノ位置	種量
	液体鹽素滅菌機	室ノ位置	種量
	一臺	室ノ位置	種量
	水質保全用	室ノ位置	種量
第七 配水池			
構造種別	池ノ形体	各池ノ形状	二池有効面積
鐵筋混凝土	中央隔壁ニ依リ二池	內法長	二池有効面積
	二八、八	幅	二池有効面積
	五、四	深	二池有効面積
	二、五	水深	二池有効面積
	八、五	容	二池有効面積
	三、三〇八	量	二池有効面積
	一〇四、八九六	池ノ満水面	二池有効面積
	一八、〇三		二池有効面積
第八 量水計室			
構造種別	桁行梁間一坪	室ノ位置	種量
鐵筋混凝土	一〇〇、三三	室ノ位置	種量
	一〇〇、三三	室ノ位置	種量
	一、二七強	室ノ位置	種量
	一〇九、七	室ノ位置	種量
	配水池引出口ノ距離	室ノ位置	種量
	四百八十五尺ノ地點	室ノ位置	種量
	水銀式精算計自動的圖示	室ノ位置	種量
	裝置圖筒型	室ノ位置	種量
	一臺	室ノ位置	種量
第九 鑄鐵配水本、支管			
管ノ内徑	布設延長	管ノ内徑	布設延長
六〇〇	五九、五	二〇〇	六、九四八
五〇〇	一、五八、五	一五〇	六、五三三
四〇〇	一八九、〇	一〇〇	六、一三五、四
三〇〇	二八、四	三吋	三、三〇四、九
三〇〇	三三六、一		六、二七
三〇〇	一九、一		四、〇六、八
二五〇	一九八、一		換算 三〇里三町四間一分
	一、九八七、一		

第一〇 配水管附帶設備		位置 全	
管ノ内徑	布設延長	管ノ内徑	布設延長
六〇〇	五九、五	二〇〇	六、九四八
五〇〇	一、五八、五	一五〇	六、五三三
四〇〇	一八九、〇	一〇〇	六、一三五、四
三〇〇	二八、四	三吋	三、三〇四、九
三〇〇	三三六、一		六、二七
三〇〇	一九、一		四、〇六、八
二五〇	一九八、一		換算 三〇里三町四間一分
	一、九八七、一		

種別	員數	機能	摘要
公設消火栓	三〇個所	消火及演習用	配水系統約六十間毎二一個所ヲ設ク 市内要衝ノ地點ニ設ク
公設共用栓	三基	途上ノ公衆用	
制水辨	四〇個所	配水系統部分制水用	配水系統ノ要衝地點ニ設ク

第一一 給水區域、人口給水量及水頭

給水區域 四日市市内一圓
 給水人口 五萬人但シ配水幹線ハ十萬人分
 給水量 一人一日最大七立方尺 但消火用水量ハ每分六十立方尺水
 水頭量 市内中央部每平方吋ニ付七十封度 (水頭百六十一尺)
 築港方面末端全五十封度 (水頭百十五尺)

種別	年度末	全年度末	九年度末
湯屋營業	三	三	三
臨時工事用	三	三	三
撤水用	三	三	三
官公署	三	三	三

第一二 給水戸數

種別	年度末	全年度末	九年度末
學院校	三	三	三
病社	七	七	七
會社	三	三	三
工會	三	三	三
一般職業營業用	三	三	三
家事專用	二、九三	二、九二	二、〇五
共用	四八	三七	三八二
計	三、八二	三、二四	二、七七一

種別	年度末	全年度末	九年度末
營業用	二七、二六	一四、三三	一一、九二
家事專用	二六、〇二	二四、二七	二四、二四
共用	一、四三	一、五八	一、四一
量水器使用料	九、八〇	八、七六	一、〇三
船舶給水料	二、〇八	二、二八	二、四八
計	五、七七	五、二〇	四、〇六

第一三 給水料及量水器使用料收入額

第一四 水質試驗

(昭和十二年十月末現在)

全	全	全	全	全	新	驛
					丁	前
水	み	千	朝	近	末	日
野	の	集	日	江	廣	出
屋	や	館	館	屋	屋	館
		七二一	九一〇	一一七		四一〇
全	濱	川	午	川	北	高
	原	原	起	原	條	砂
	田	町	町	町	町	町
金	鈴	坂	午	川	土	芝
生	倉		起	端	松	原
			旅	旅	旅	旅
館	作	屋	館	屋	館	館
						六九九

第四 名勝史蹟天然物其他

一、名稱 那古ノ渡リ (那古ノ浦トモ云フ)
 二、種類 名勝
 三、備考 四日市ノ海邊全体ヲ指シテ云フ名ニシテ東海道名稱圖繪訓栞ニ出テ往時名勝ノ内ニ入レリ今ノ所謂蜃氣樓ノコトニシテ春夏ノ交風靜カニ雲取リタルノ時城郭臺榭忽然トシテ海上ニ現ハレ又忽然トシテ消失ス土俗ニ之ヲ大神宮ノ熱田ニ遊幸セラル、モノナリト謂ヒシトゾ現時霞ヶ浦ト云フハ其意ヲ受ケ春ノ霞ノ長閑ナル景ヲ呼ヘルナラン

一、名稱 濱田城址 (濱田字堀ノ田神社境内地)
 二、種類 舊蹟
 三、備考 田原秀郷將軍十一世ノ孫足利又太郎忠綱ト云フモノアリ其ノ甥ヲ景綱ト云ヒ信濃國ニ移リ佐野小次郎ト稱ス此八世ノ孫田原孫太郎景信上野國赤堀ノ庄ヨリ伊勢國ニ移リ其三男田原美作守忠秀ヲ濱田ニ置カル

其後土御門天皇文明二年今ノ濱田鶴森神社ノ地ニ築城セラレ子孫四代此處ニ現住セシガ二代遠江守ノ時賴田信長ノ出テ天下ノ大亂ヲ一定スルヤ其ノ臣瀧川左近將監一益ノ爲メニ亡サレ今ハ鶴森神社地トナリ古松老木千古ノ歴史ヲ語ラントスルノミ

一、名稱 思案橋
 二、種類 橋梁史蹟
 三、所在地 四日市市濱町
 四、備考 傳説ニ依レバ昔徳川家康當地ヨリ尾州大野ニ渡ラントシテ此橋迄來リシ時鳥ノ鳴聲シケレバ敵ノ打手ナランカト打驚キ大ニ思案セシコトアリト云フ現在長サ三間ノ小橋ナレドモ昔日ニハ十五六間ノ長サナリシト云フ然レドモ其傳説ハ眞虛明カナラズ但シ家康公ノ四日市ヨリ大野ニ渡リシ事ハ事實ナリ

一、名稱 掃部殿
 二、種類 古墓
 三、所在地 四日市市大字濱田字安島 (天理教敷地内)
 四、所持有者 井島茂作
 五、現狀 往古ノ儘
 六、備考 中川掃部助ノ戦死セシ跡ナリト云フ掃部助ハ濱田城主遠江守ノ家臣ニシテ天正年間瀧川一益ガ濱田城ヲ攻メタル折堀木信濃守ト共ニ力戦苦闘途ニ刀折レ矢盡キテ戦死ヲ遂ケタル所ナリト云フ俗説ニ若シ此境ノ竹木ヲ折損スルトキハ忽チ大ニ熱病ニ罹リ治ヘサルヘシト是レ眞ヲ置キ難ケシトモ今尙謹ミテ一枝ヲ



損ヌルモノナシト云フ

- 一、名稱 大正天皇御手植之松
- 二、種類 松 樹
- 三、所在地 四日市市大字末永字宮前 三重郡團体事務所境内
- 四、現状 庭内ニ現在綠翠繁茂シ高サ二十尺ニ及ブ
- 五、備考 明治四十五年四月大正天皇東宮ニ在シマシ、トキ親シク演習御統監ノ際當時ノ三重郡長栗山氏ノ願ヲ御嘉納シ給ヒ此地ニ松樹一本ヲ御手植遊サレシモノナリ
- 一、名稱 大正天皇御駐蹕舊蹟
- 二、所在地 四日市市大字東阿倉川境界岡山 (通稱垂坂山)
- 三、備考 大正天皇明治四十五年四月行啓アラセラレタルヲ記念スル爲近郷ノ吏民申合セ碑石ヲ建ツ
- 一、名稱 天然記念物 いぬなし 自生地
- 二、種類 植物 梨 樹
- 三、所在地 四日市市大字東阿倉川字北出口
- 四、現状 石柵標石ヲ設ケテ保護シアリ樹數三本能ク繁茂セリ
- 五、備考 大正十一年内務省ヨリいぬなし自生地トシテ指定セララル
- 一、名稱 天然記念物 あいなし 自生地
- 二、種類 植物 梨 樹
- 三、所在地 四日市市大字西阿倉川字上野山林中

- 四、現状 殘存ノ樹數少ナク雜木林中ニ介在
- 五、備考 いぬなしト共ニ記念物トシテ指定セララル

◎ 附 録

案 内

記念館 諏訪神社境内ニアリ素ト市内南町ナル黒川彦右衛門氏ノ所有ニシテ明治元年ニ二回全二年及全十三年ノ四度長クモ 明治天皇ノ行在所ニ充テサセラレ 英照皇太后亦タ御假泊アラセラレタル建物ニテ全家ニ次テ保存シ來リシガ市ヘ寄附ノ協約成リ大正四年六月此處ニ移シタルモノナリ

諏訪公園 縣社諏訪神社西ニアリ最初保光苑ト稱シ明治三十七八年戰役凱旋者歡迎ノ爲メ造成シタルモノナリシガ大正五年御大典記念事業トシテ千四百二十一坪ヲ擴張シ諏訪公園ト改稱セリ園内ニ全シク記念事業トシテ建設ノ圖書館アリ

祭 禮 縣社諏訪神社祭典ハ毎年九月二十六七日ノ兩日ニシテ各町種々ノ練物出演等アリ

劇 場 世界館(中町) 彌生館(南町) 帝國館(幸町) 演座(新丁) 菊水館(中町) 昭永座(末永)

御足洗ノ池 三重郡三重村坂部ニアリ停車場ヨリ凡ソ一里半日本武尊御足洗ノ古跡ナリ

垂坂山 三重郡羽津村ノ西界ニアリ停車場ヨリ凡ソ一里伊勢内海ノ光景一望ノ中ニ集リ眺望絶佳ナリ昭和三年此ノ山麓ニ東洋一ヲ誇ル對歐無線電信受信局ノ設置ヲ見タリ

柿梅林 三重郡朝日村ニアリ停車場ヨリ凡一里余梅ニ名アリ

富田 三重郡富田町ニアリ伊勢内海ニ臨ミ眺望絶佳海水浴ニ名アリ夏期杖ヲ曳クモノ多シ四日市ヲ去ル一里
霞ヶ浦 四日市港以北町屋川ニ至ル一帯ノ海邊ニシテ伊勢内海ヲ距テ、尾張國知多半島ト相對シ風光絶佳且ツ海
水浴ニ適ス毎年夏季ニハ遠近ヨリ來集スル者頗ル多シ
海山道稻荷 停車場ヨリ下街道ヲ南スル二十丁毎年四月八九兩日ノ祭典ニハ參拜者實ニ多ク雜踏ヲ極ム
地藏谷 三重郡日永村ニ在リ停車場ヨリ凡一里梅ノ名所ナリ
觀音寺 全郡日永村泊ニ在リ山ニヨリテ眺望宜シク殊ニ櫻花季節杖ヲ曳クモノ多シ汽車ノ便アリ
岡山梅林 三重郡西日野ニアリ三重鐵道ニヨリテ便アリ
友蝶園 四季ノ花見ニ宜シク遊散ニ適ス全ジク八王子驛ヨリ十五丁
永澤紅葉 三重郡水澤村ニシテ紅葉ニ名アリ當所ヲ去ル四里鐵道線八王子驛ヨリ二里バスノ便アリ
一生吹山 三重郡櫻村ニ在リ眺望宜シク松茸ノ勝地ニシテ停車場ヲ去ル凡ソ一里半三重鐵道ニヨリテ至極便ナリ
湯ノ山 三瀧川ノ水源地菫野町ニ在ル温泉地ニシテ奇岩アリ瀧アリ空氣清新氣候溫和加之櫻花新綠紅葉雪景色四
時ノ眺實ニ明眉ニシテ春夏秋冬清遊ノ客跡ヲ斷タス三重鐵道湯ノ山驛ヨリ二十二丁
午起海岸 三瀧川以北ノ海岸ニシテ砂白ク松綠ニ眺望頗ル絶佳ニシテ水淺ク浪靜ナルガ故ニ例年夏期遠近ヨリノ浴
客多ク体育ノ養成ニ好適地ナリ省線午起驛ヨリ二丁
鵜森公園 鵜森神社境内ノ古松老木ヲ背景トシテ昭和三年二月鵜森神社氏子相謀リテ築造シタル公園ニシテ廣袤三
千九百六十坪本市重要ノ遊樂地トス

昭和十三年二月十日印刷
昭和十三年二月十五日發行

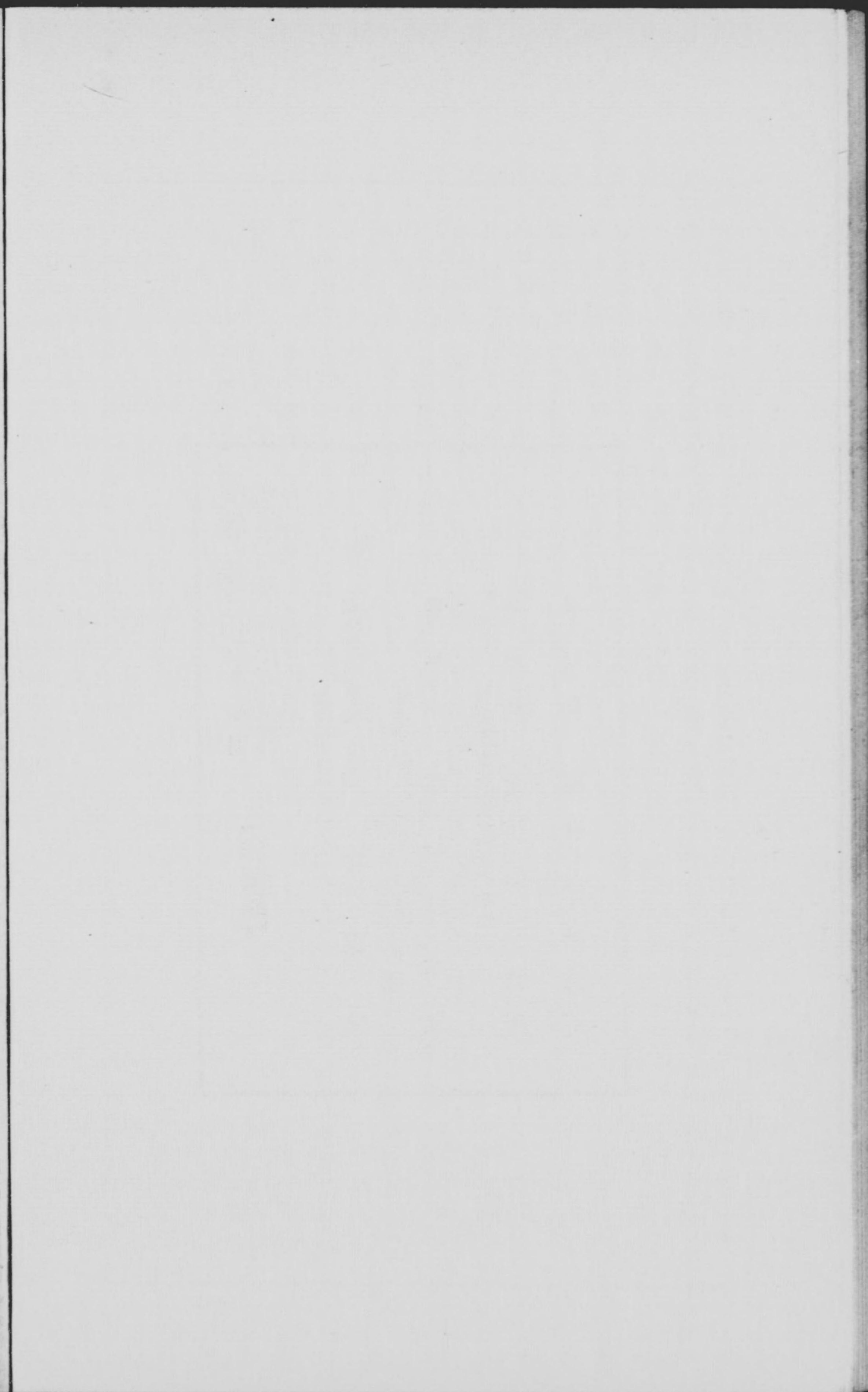
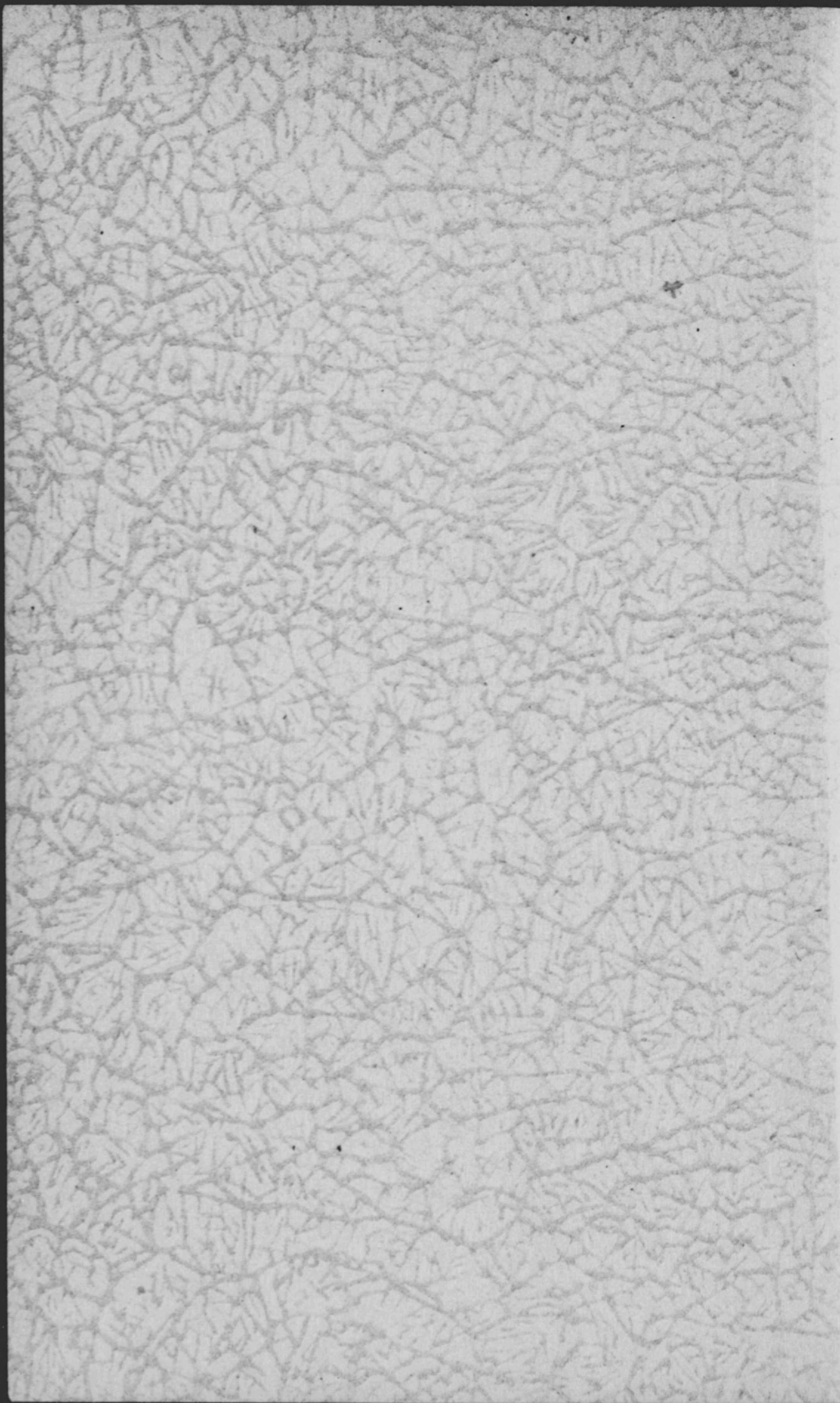
【非賣品】

編輯兼發行人 酒井保興
四日市市濱田一六〇六ノ一

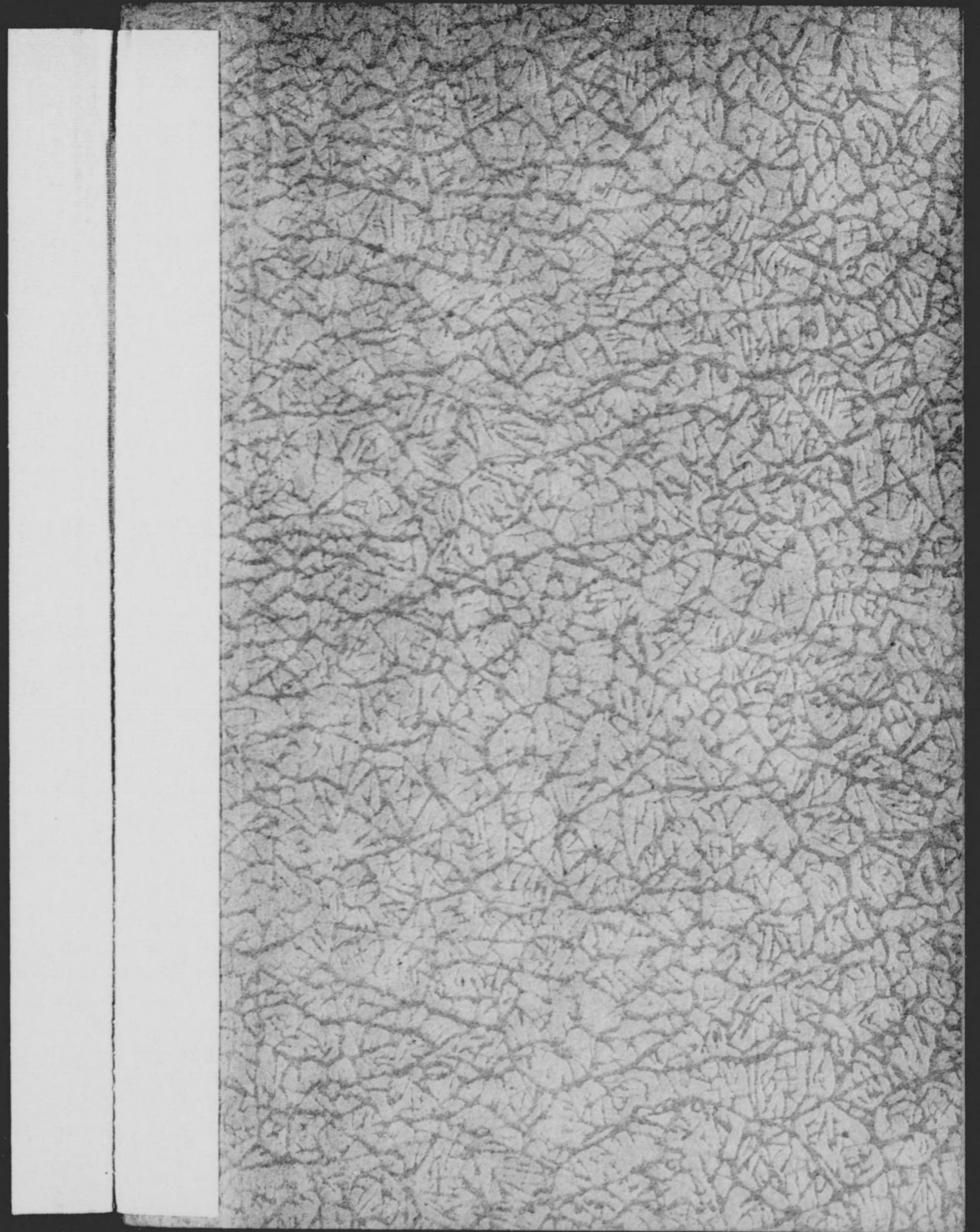
印刷人 水谷政太郎
四日市市西町二四七〇番地

印刷所 北辰舎印刷所
四日市市西町二四七〇番地

發行所 四日市市役所



14.4
929



Small white rectangular label on the left edge of the page.

Vertical white rectangular label on the left edge of the page.

